

高等学校学習指導要領における地理「地理総合」（仮称）の改訂の方向性（案）

平成28年5月18日
教育課程部会
高等学校の地歴・
公民科科目の在り方
に関する特別チーム
資料13-1

科目の特徴

○持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察する科目

○グローバルな視座から国際理解や国際協力の在り方を、地域的な視座から防災などの諸課題への対応を考察する科目

○地図や地理情報システム(GIS)などを用いることで、汎用的で実践的な地理的技能を習得する科目

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者を育成するために

現行地理A科目

地理A

(1)現代世界の特色と諸課題の地理的考察

- ア 地球儀や地図からとらえる現代世界
- イ 世界の生活・文化の多様性
- ウ 地球的課題の地理的考察

(2)生活圏の諸課題の地理的考察

- ア 日常生活と結び付いた地図
- イ 自然環境と防災
- ウ 生活圏の地理的な諸課題と地域調査

資質・能力

社会的事象等の地理的な見方や考え方を

- 地球規模の自然システムや社会・経済システムに関する理解 など
- 地理に関する情報を効果的に調べまとめる技能 など
- 地理に関わる諸事象等の意味や意義、特色や相互の関連について、地域という枠組みの中で概念等を活用して多面的・多角的

持続可能な社会づくりに求められる地理科目

用いて右の資質・能力を育む

- に考察したり、地域にみられる課題を把握し、その解決に向けて構想したりする力 など
- 持続可能な社会づくりに向けて、地球的、地域的課題を意欲的に追究しようとする態度 など

新必修科目

「地理総合」（仮称）

(1) 地図と地理情報システムの活用

GIS

⇒以降の地理学習等の基盤となるよう、地理を学ぶ意義等を確認するとともに、地図や地理情報システム(GIS)などに関わる汎用的な地理的技能を身に付ける。

(2) 国際理解と国際協力

グローバル化

ア 生活・文化の多様性と国際理解

⇒自然と社会・経済システムの調和を図った、世界の多様性のある生活・文化について理解する。

イ 地球的な諸課題と国際協力

⇒地球規模の諸課題とその解決に向けた国際協力の在り方について考察する。

(3) 防災と持続可能な社会の構築

ア 自然環境と災害対応

防災

⇒日本国内や地域の自然環境と自然災害との関わりや、そこでの防災対策について考察する。

イ 生活圏の調査と持続可能な社会づくり

ESD

⇒生活圏の課題を、観察や調査・見学等を取り入れた授業を通じて捉え、持続可能な社会づくりのための改善、解決策を探究する。